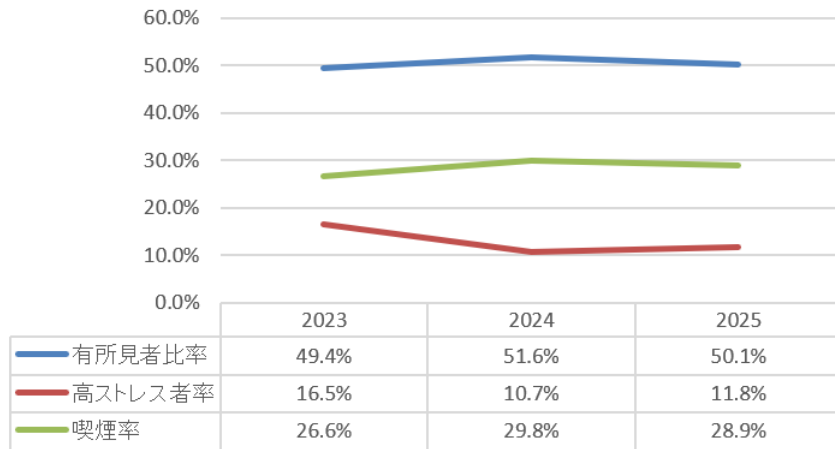


健康投資施策	投資額（原則2025年度）	実施結果
健康診断実施		
健康診断費用補助	1,639,355円	健康診断受診率：95.9%
重点項目①女性の健康課題に関する取り組み		
低用量ピル費用補助制度	0円	年度累計利用者なし
ヘルスコンベンション	337,680円（参加者人件費）	対象者における参加率：97.7%
（2026年2月実施、テーマ：子宮頸がん）		アンケート回答者における満足度：5段階中4.0
重点項目②メンタルヘルスに関する取り組み		
ストレスチェックの実施	130,000円	受検率：100%
重点項目③禁煙に関する取り組み		
禁煙月間（2026年5月実施）	0円	社員における認知度：93.1%
特定保健指導実施	※社会保険料に含む	特定保健指導実施率：11.1%

健康経営の歩みと今後への示唆（2023-2025）

健康課題の改善について

健康関連の最終的な目標 経年変化

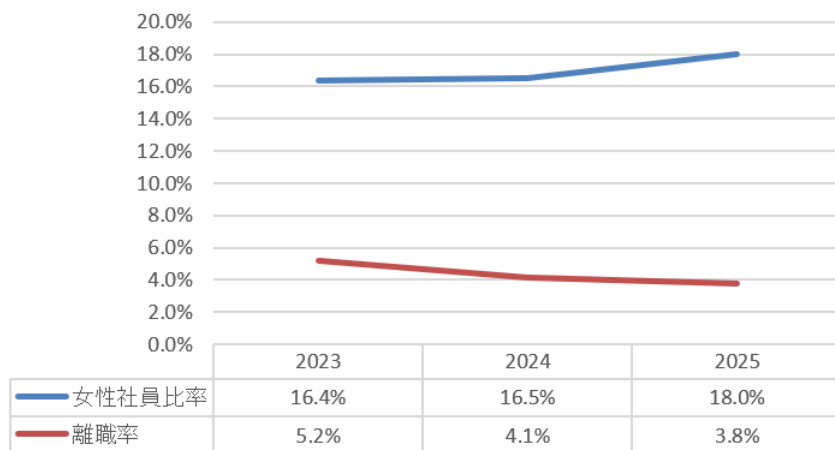


健康関連の最終目標として、有所見者率45%以下、高ストレス者率15%以下、喫煙率20%以下を掲げている。

2025年度は有所見者率50.1%、高ストレス者率11.8%、喫煙率28.9%と高ストレス者率以外は目標を上回る水準で推移。一方で、健康診断受診率や健康施策への参加率、ヘルスリテラシーは着実に向上しており、社員の健康意識の定着が進みつつある。今後は個々の行動変容を促す施策を強化し、目標値への段階的改善を図る。

企業経営に対する健康経営の効果について

健康経営全体の目標 経年変化



女性社員比率は2023年度16.4%から2025年度18.0%へ上昇し、改善傾向にある。離職率は2023年度5.2%から2025年度3.8%とこちらも改善傾向にある。しかし、男女別で見ると男性の離職率に対して女性の離職率は高くなっている。女性は男性と比べて体調やライフステージ変化の影響を受けやすい傾向があるため、今後はこうした背景に配慮した健康支援や柔軟な働き方を推進し、長期的なキャリア継続を支える体制づくりを進める。

また、2025年度からは新たにワーク・エンゲイジメントを健康経営のKGIとして設定し、全社員の働きがい向上に取り組んでいく。

パフォーマンス指標について

指標	2023年度	2024年度	2025年度
①プレゼンティーイズム	-	20.1%	21.4%
②アブセンティーイズム	0.02日	0.16日	0.30日
③ワーク・エンゲイジメント	-	-	2.4点

①**プレゼンティーイズム**：従業員が勤怠管理上は表に出てこないが、健康問題が理由で生産性が低下している状態
【測定方法】

東大1項目版を用いた従業員アンケートを実施。実績値は回答者平均。※2024年度～測定開始

【測定人数/回答率】 81名/61.8%（2025年7月従業員アンケートにて実施）

②**アブセンティーイズム**：従業員の健康問題による仕事の欠勤（病欠）の状況
【測定方法】

傷病休職制度の利用日数の全従業員平均。

（傷病を理由とした欠勤や有給取得日数は未把握。）※2023年度～測定開始

【測定人数/回答率】 609名/100%

③**ワーク・エンゲイジメント**：熱意、没頭、活力の3つがそろい、積極的で充実した心理状態
【測定方法】

新職業性ストレス簡易調査票を用いて測定。「仕事をしていると、活力がみなぎるように感じる」「自分の仕事に誇りを感じる」の2項目についてスコアの全社員平均。※2025年度～測定開始

【測定人数/回答率】 127名/100%（2025年10月ストレスチェックにて実施）